

【 第32回オリンピック(東京2020) 】

2021年7月24日～8月8日 日本・東京

試合結果報告 7 月 26 日 (月)

JAPAN	vs	スウェーデン
14	1st	17
12	2nd	11
	ex	
	ex	
26	TOTAL	28

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
10	杉岡 尚樹					0
12	岩下 祐太					0
13	笠原 謙哉		3			3
15	部井久アダム勇樹	1	1			2
18	成田 幸平					0
19	徳田 新之介	3				3
20	渡部 仁	2	1			3
21	土井レミイ杏利	2				2
22	坂井 幹					0
25	元木 博紀	2	4			6
31	吉野 樹	2				2
38	水町 孝太郎		2			2
41	徳田 廉之介					0
43	吉田 守一	2	1			3
TOTAL		14	12	0	0	26

戦況

21年世界選手権銀メダルのスウェーデンと対戦。ドイツリーグを中心に、世界のトップリーグで活躍する選手を揃える強豪国。

日本は、攻撃ではプレーメーカーに部井久、渡部と吉野がバックコート、元木と土井がサイド、ポストに笠原の布陣。守備では、GKに岩下、笠原をセンターDF、部井久をトップDF、2枚目DFに渡部と成田、1枚目DFに元木と土井を配置した「5-1DF」、前回のデンマーク戦とはDFシステムを変更してスタート。

試合開始、BPのCarlsbogard (TBV Lemgo)とPVのDarj (Bergischer HC)のコンビネーションから先制点を許す。その後も、世界的名手のEkberg (THW Kiel)のサイドで連続失点。しかし、日本は渡部のカットインで食らい付いていく。対するスウェーデンも、昨シーズンドイツブンデスリーガMVPのGottfridssonのディスタンスシュートなどで日本を突き放しにかかる。15分、徳田新の速攻で8-8の同点。17分には土井のサイドシュートで10-9と逆転に成功する。しかし、前半終盤に相手GK・Aggefors (Aalborg)の好セーブから3連取られ、14-17の3点ビハインドで前半を終了する。

後半戦、開始早々に笠原のポストで得点。しかし、その後、シュートミスやテクニカルミスなどで相手にチャンスを与えてしまい3連続失点、15-21とリードを6点に広げられてしまう。日本はここでタイムアウトを請求した後7人攻撃を仕掛ける。笠原の技ありポストで得点、直後にGK岩下の好セーブもあり、徐々に良い流れを呼び込む。13分過ぎ、部井久のカットイン、吉田のポスト、元木のサイドで3連取し、22-25と3点差に詰め寄る。さらに、23分過ぎからは、元木のサイド、水町のカットイン、元木の7mTで再び3連取。残り3分で26-27の1点差まで追い上げる。残り1分半、同点のチャンスもあったが、テクニカルミスによりチャンスを逸すると、退場者を出し、最後は世界選手権2021ベスト7のWanne (SG Flensburg-Handewitt)にサイドを許してしまい万事休す。26-28で敗戦となった。

世界選手権2位のスウェーデンに対して、互角の勝負ができたことや初戦のデンマーク戦の敗戦からチームを立て直せたことは大きな自信につながる一方で、大切な勝負所でミスが出るなど課題も残った試合となった。

予選リーグはまだまだ続くので、次戦エジプト戦に向けて、対戦国の分析、選手のリカバリーなどに時間を集中して使い、次こそは勝利を掴みたい。

報告記入者 :

舎利弗 学